

久野 すが子

ひさの
活動ニュース

寝屋川市議会議員 無所属



「みんなが主役」の
街づくり
ねやがわ

【発行】ひさのすがこ後援会【発行責任者】小林佑介

寝屋川市御幸西町 25-14-301 TEL: 090-2554-3185 メールアドレス: sugako55@yc4.so-net.ne.jp

身近な市政と将来の魅力あるまちづくり

こんにちは。寝屋川市議会議員 久野すが子です。

4月の統一地方選挙にて皆様からご支援を頂戴し初当選させていただきました。本当にありがとうございました。30年の企業勤めと女性・生活者視点から、寝屋川を働く女性が住み続けたい街 No.1 を指標に、子どもからお年寄りまで、みんなが主役のまちづくりを目指します。自ら動く・聴く をもとに皆様の声を政治・市政に届けます。結びになりましたが、お困りのことがございましたらお気軽にお声がけください。



(会派：ねやがわ未来議員団)

ワガヤネヤガワ まちづくり報告 (総務都市創造常任委員会)



◆対馬江大利線（道路）の橋梁工事が始まります

京阪寝屋川市駅の下を東西方向にはしる対馬江大利線。拡幅整備にむけ、いよいよ工事が始まります。まずは駅西側の「大利橋」の拡幅工事がスタート（現在準備中）。駅前の街づくりの軸としてしっかり進めるよう見守っていきます。工事が始まると、せせらぎ公園や周辺道路の通行が制限されますのでご注意ください。

- 橋梁拡幅工事：令和2年1月～令和3年春（予定）
- 対馬江大利線道路工事：令和2年～以降順次



◆寝屋川公園駅前大規模道路整備の経過について

JR寝屋川公園駅から第二京阪道路への新たな道路建設。今春、JR東寝屋川駅からJR寝屋川公園駅にチェンジしたことから工事名も変わりました。道路開通は令和2年。周辺には大阪病院、ドラッグストア、食料品スーパーの建設開業（予定）することが決まりました。JR寝屋川公園駅前のまちづくりにむけて駅前も含めた若い世代を呼び込む新たなまちづくりのスタートです。

寝屋川市 9月議会報告 【一般質問で行政に問う！】

9月度 議会（定例会）9月2日～9月24日の23日間

- ◎認定案件6件
- ◎報告案件3件
 - ・平成30年度寝屋川市一般会計継続費の報告 他
- ◎議案28件（内委員会付託20件）
 - ・令和元年度一般会計補正予算（第3号）
 - ・令和元年度特別会計補正予算 3件
 - ・監査委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任 3件
- ◎各常任委員会
 - 総務都市創造付託14件（+予算決算）
 - 健康福祉付託4件（+予算決算）
 - 文教環境付託2件（+予算決算）
- ◎意見書 2件
 - 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書（久野すが子原案提案）
 - 高齢者の安全運転支援と移動手手段の確保を求める意見
- ◎一般質問（20人）

【久野須賀子 一般質問要旨】

詳細は寝屋川市のWEBサイトや、動画サイト「寝屋川市議会 久野須賀子」で検索にてご覧いただけます。

1 街づくりの2軸化構想と駅前施策について

問：JR学研都市線を軸とする新しい街づくりとして子育て世代をターゲットとすれば、寝屋川公園駅がにぎわう街づくりが必要だと思うが、現在は活気があるとは言えない。2軸化構想を軸とした、子育て世代の寝屋川市への転入促進、定住促進のための子育て施策と駅前施策について、調査も含めた進捗状況と構想は。

答：8月末に委託業者と契約を締結し、今年度末までに基礎調査を行う。また、意見交換等を行うため、各鉄道事業者、沿線市及び大阪府が参画する「沿線まちづくり協議会」を令和元年8月に設置した。

問：京阪駅寝屋川市駅前西口の駅前の街づくりについて、西側は目の前に一級河川寝屋川があるため、商店街の方向へのアクセスが限定的で、交通的にも空港バス級の大型バスが入り困難な狭さである。10月より対馬江大和線整備事業で橋梁の拡幅工事がスタートすることになったが、対馬江大和線の整備完成後の、寝屋川市駅前の街づくりについての考えについて問う。

答：寝屋川市駅周辺に関して大手デベロッパー等へのヒアリングを行った上で、メインターミナルとなるエリアを抽出し整備手法等を検討する。

問：住みたい、魅力的だと思うのは、駅前の大胆な再開発、広い空間づくりがされている場所が多い。20年後30年後四半世紀後の寝屋川市の姿を、京阪香里園駅、萱島駅の駅前・周辺の街づくりを進めることで、リアルにすごい寝屋川市になることを進めるべきであると思うが、構想、見解は。

寝屋川市議会 令和元年9月定例会



寝屋川市議会 令和元年9月定例会 9月12日 一般質問 久野須賀子議員（ねやがわ未来議員団）

答：香里園駅周辺は京阪本線連続立体交差事業による高架下利用や沿線まちづくりの検討を進めている。萱島駅周辺は都市計画道路萱島讃良線及びその周辺整備や駅周辺のまちづくりについて、今後進めていく。

2 職員の働き方改革について

問：労働条件において、勤務というものは根幹をなす部分で大切に扱う必要があると認識する。一時的な評価や評判をよくすることに先走って導入するというだけのものではなく、働き方改革の一步として、市民にもその成果を還元していく有効な制度運用を期待する。働き方改革はフレックスだけではなく、職員が生き生きと働き成果を出していく土壌や基盤づくりです。フレックス以外にも、これまで取り組んできたこと、そしてこれから考えられている仕掛けを問う。

また、過度な長時間労働にならぬよう上司が一人ひとりの業務量等を把握し、しっかりしたマネジメントを望む。

答：長時間抑制システムの運用やノー残業デーの安全衛生委員会での職場巡回など長時間労働是正に取り組んでいる。

フレックスタイム制（ねやがわスタイル）では職員の働き方改革推進への着実な運用を図ると共にA I , R P A など積極的なI C Tの活用を進めていく。

3. 学校における働き方改革とI C T活用について

問：2020年からの新学習指導要領の施行も控え、教員の先生方には、しっかりと授業の準備、研修等が必要であり、働き方改革も急務である。国からは、これまで全て学校がやってきた業務を、①学校以外が担う業務 ②学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務 ③教師が担う業務の3つに大別し、地域や外部と連携して今後の業務を進める指針も示されている。これまでの慣習、制度、人的な課題もあるが、しっかりと子どもに向き合える先生像のためにI C T化については先んじて進められると思う。教育現場におけるI C T活用における成果を問う。

答：全教室にI C T環境が整備されており、より分かりやすい授業づくりが行われ、授業への児童・生徒の関心や意欲が向上するとともに調べ学習を通じた情報活用能力の向上が見られる。新学習指導要領におけるプログラミング教育についても、大阪電気通信大学との協定の下、対応を進めている。

4. 「ひきこもり」支援について

問：厚生労働省の調査で15歳から39歳までのひきこもり状態にある方は約52万人、40～64歳まででは約62万人。8050問題とも言われる、親世代が高齢化し中高年の子どもをどうしたらいいのかという悩みやいたましい事件も起きている。社会の認識も変えていく必要がある一方、行政として身近にカウンセリングを受けられる体制が必要である。中核市になり保健所が市の管轄になって保健予防課で相談窓口になったのは前進であるが、親御さん含めまだ知らずに悩んでいる人も多い。今後の窓口の市民への周知、ひきこもりの実態についての把握の方向性と対策として日常生活の自立、社会参加、就労支援を段階的に行うカウンセリングやケースワーカー、就労支援についてのスキームについて今後の見解は。

答：窓口の市民への周知は、あらゆる媒体を活用していく。ひきこもりの把握は、潜在的なひきこもりが多いと考え、実績把握を調査・研究する。就労支援は本人状況を把握し、希望に応じた対応を適切な支援期間に繋ぐ等連携していく。

5. 子どもを守る施策について

問：安心して子どもが育つ環境は、家庭で健やかに過ごせること、そしてそれぞれの居場所で大人が守ってくれるということだと思うが、大人の都合で子どもの虐待や子ども自身が

非行に向かうのが今の現実である。起こってはならない事件を防ぐため、しっかりケアできる体制が必要である。国では対策の一つとして、中核市は施行5年以内に児童相談所を設置できるよう設備整備、人材確保、育成の支援等の措置を講ずるとなった。これまでも寝屋川市では様々な視点から体制をとってきていると認識する。教育現場や警察との連携をはじめ寝屋川市として独自に児童相談所を構えることも考えるべき。近隣の市との連携も必要なこともあるので慎重に考える必要はあるが、実態の説明も含め見解を。

答：児童虐待相談件数は平成30年度、1409件と増加傾向にある。現体制は、要保護児童対策地域協議会にて長期的な支援の方向性等を共有し、弁護士資格を有するスーパーバイザーを配置し、適切かつ迅速に対応している。児童相談所の設置については、中核市市長会にて「児童虐待防止に向けた中核市の役割」等の検討を進めていることから、その方向性を踏まえ、調査・研究する。



6. 夏の熱中症対策について

問：本市の今年度の熱中症対策の実績と効果についてと、次年度以降につながる総合的な夏の熱中症対策について問う。

答：本年度は高齢者へのネッククーラー等の配布、公共施設8か所にクールスポットを設置した。来年度以降は事業の在り方について調査・研究する。

問：学校の体育館へのエアコン導入も喫緊の課題と認識するが見解は。

答：事業規模が非常に大きくなることから先行事例等の情報収集など検討を進める。

議員としてのスタンスや大切な想い

政治や行政というものは、市民目線でいうと、それ自身がなにかをやりとげる、チャレンジするというのではなく、国民・市民が生き生きと暮らし、そして目標に向かってチャレンジするための、土台や基礎をつくり安定させることであります。マイナスになっているところはゼロに引き上げる。そしてゼロのレベルを少しずつあげて、暮らしのベースが少しずつよくなっていく。そのような姿が健全な目指すべき姿だと思います。働く人を支え、どんな人でも自分を磨ける、つらい時は助けてといえる人や場所がある。場をつくり支えていくことが公的な役割であると思います。

反対に急激な世の中の変動や改正などは、本来はあるべき姿ではないと思います。しかしながら制度を急に变化させなければならない時はあります。それはまさにまったなしの緊急事態の場合です。大きな視点から見れば、先を読む力、施策の優先順位、とりまく環境が大事であるということにほかなりません。

以上のことから、大きな変化を決断する場合は、経過措置も含めた次の施策施行までのなだらかな変化策も講じながら、道筋・ビジョンを立てることが大事ということなのです。

寝屋川市は4月から中核市になりました。その意義は、近隣の自治体とも連携もしつつ、自分たちのことは自分たちで決め、守りそして進むということだと思います。目の前の課題解決は重要と考えますが、将来の為の大きな方向性や実行の道筋を、行政と一緒に論議し答えを出していくことが、議員としてのスタンスであり大事な役割であると考えます。



活動・行事の記録 (7月～9月)

- 7月・電機連合北河内市民相談会(2地区)
- ・松親会
 - ・連合寝大囃幹事会
 - ・PGU地区連地域幹事会
 - ・デバイス総合支部 支部委員会
 - ・Pデバイス労組年次大会
 - ・トラック市(寝屋川駅前)
 - ・富士政治大学校受講
 - ・地域盆踊り(12地区へ参加)
- 8月・モータ支部年次大会
- ・コマツユニオン様訪問
 - ・寝屋川駅前街頭
 - ・連合寝大囃幹事会
 - ・NPO腎臓疾患患者協会と市長へ要望書提出
 - ・デバイス総合支部年次大会
 - ・大阪府交通環境をよくする行動会議
 - ・電機連合北河内市民相談会(1地区)
 - ・PGU組織内議員団・OB夏季懇談会
 - ・連合寝大囃行事(住道:ボーリング大会)
 - ・地域盆踊り(18地区へ参加)
- 9月・電機大阪定期大会
- ・関西電力様来庁
 - ・「技フェスタ」視察
 - ・電機連合北河内市民相談会
 - ・連合北河内幹事会
 - ・市内中学校体育大会(5中、7中 訪問)
 - ・市内小学校運動会(和光小、神田小 訪問)
 - ・地域まつり(2地区へ参加)

台風19号、21号で被災された皆様へ

今回の台風は本当に広範囲で東日本一帯に大きな被害が及びました。お亡くなりになられた方々への哀悼の意を表し、また被害に遭われ本当に大変な思いをされていること心からお見舞い申し上げます。一日もはやい復興をお祈り申し上げます。

久野須賀子(ひさのすがこ)

パナソニック株式会社 新規事業のマーケティング等に従事
2019年4月 寝屋川市議会議員初当選

連合・電機連合・パナソニックグループ労連組織内議員



ひさのすがこ後援会加入者募集中(会費無料)

連絡先: TEL 090-2554-3185 (久野携帯)

sugako55@yc4.so-net.ne.jp

広報ボランティア募集中!

